

## 疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科  
肝胆膵外科学

### 【研究課題名】

腹腔鏡下肝切除術の治療成績に関する多施設共同研究

### 【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2016年12月31日

### 【研究の意義・目的】

多施設共同研究によって Difficulty score の検証を含めた臨床病理学的因子や術中因子から術後治療成績を検討し、腹腔鏡下肝切除術のさらなる安全性の向上を目指す。

### 【研究の方法】

対象は2010年1月～2014年12月の期間に腹腔鏡下肝切除術（完全、腹腔鏡補助下、用手補助腹腔鏡下）背景・臨床病理学的因子を検討し、その治療成績を後ろ向きに検討する。その際、背景（肝予備能）、原発部位、大きさ、脈管近傍の有無、切除術式、成績（術中出血量、手術時間、術後合併症、術後在院日数、在院死、30日・60日・90日死亡、再発、予後）などを調査研究する。

### 【研究組織】

研究代表者

久保 正二 大阪市立大学 肝胆膵外科 病院教授  
（日本肝臓内視鏡研究会）

### 【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 久保 正二 大阪市立大学 肝胆膵外科 病院教授  
住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
電話 06-6645-3841  
FAX 06-6646-6057  
E-mail m8827074@msic.med.osaka-cu.ac.jp